

一般質問



山岡 議員

一、自民党政権になってからの国県に対する要望活動について
二、観光産業の振興について

質問

一、今回、国の緊急財政支援の予算に13兆1千54億円が計上され、地方自治体の負担や民間負担を入れると総額で20兆2千億円規模の事業となり、長崎県へは500億円程度が配分されております。松浦市の現状と未来を考えると、今こそ市長のリーダーシップが必要と思われます。本市に大型の公共事業予算を獲得し、観光産業や伊万里湾環境改善などの新規予算獲得に向けて、市長として国、県に対し、どのような陳情や要望活動をされたのかお尋ねします。

二、(1)市長はいつも「鷹島町を観光の核にしたい」と言われていますが、どのような構想を持っておられるのかお尋ねします。

(2)アンテナショップは、松浦市の特産品のブランドを高め、併せて直接販売して頂くことを期待されているオープンと思いますが、オープン以来、松浦市にどのような成果があったのかお示し頂きたい。

答弁

一、本市は大型事業を抱えており、国、県の支援を必要としています。積極的に知事や県議会議員、国会議員の方々、各政党本部、国の担当部局に出向いて要望を行っているところであります。これまでの結果として、県においても西九州自動車道整備促進、九電2号機早期建設再開、神崎遺跡等保存活用などを重要施策として取り扱って頂き、国に対して予算獲得に取り組んで頂いております。

二、(1)モンゴル村と国史跡の神崎遺跡や元寇関連の水中考古学に関する取り組みとグルメ観光を組み合わせて、これを大きくPRし、鷹島を本市の観光の核として位置づけ、観光産業の振興に取り組んでまいりたい。

(2)昨年6月26日のオープン以降の実績としては、食材販売に係る本市の食材仕入れ額は約690万円となっています。情報発信に関しては、テレビ、新聞、インターネットや雑誌など79件で取り上げられ、広告費に換算すると1千100万円ほどの効果が得られています。また、バスツアーにより2千62人の来市があり、約1千300万円程度の消費効果も得られています。

一般質問



水 議員

一、福島大橋について
二、福島総合運動公園の児童遊具について

質問

一、福島大橋の架橋に関しては、昨年10月発足の新福島大橋建設促進期成会において伊万里市長、伊万里市議会議員、伊万里土木事務所長そして長崎県県北振興局長の行政機関に対して、さらには地元選出国会議員に対しても要望活動を行っています。二月の県議会でも地元選出議員が福島大橋に関する質問と早期建設の必要性を説かれています。昨年まで、市長の言葉では時期尚早とのことでありましたが、そのような対応では時期を失しないかと思う。早急に市役所内に新福島大橋架橋検討チームのような組織をつくり、架橋に向けた活動を進めていくことを提起したい。市長の考えをお聴きします。

二、これまで数種類の遊具が設置されていたが、老朽化が進み危険との理由で撤去されたままです。町内の子どもたちはもとより、帰省時の子どもたちにとっても楽しみにしている遊具です。財政面の問題もあると思うが何とか盆までに復活はできないかお尋ねしたい。

答弁

一、御指摘がありましたように、市としても遅れをとらないような、しっかりとした対応をしていかなければならないと思っています。組織の設置に関しては、現時点では今後の動き等も見ながら検討する必要があると考えます。地元期成会との連携については、福島支所長の大きな役割として対応するよう指示をしたいと考えています。期成会と連携をして、多くの方々の御支援、御協力を得ながら、一歩ずつ前進するような取り組みをしていかなければと思っております。

二、福島総合運動公園の遊具は、町民のみならず町内外からの利用も多く、町民憩いの場所でもあり、各種イベント時には子供たちの格好の遊び場でもあります。どのような遊具が必要なのかを検討しているところですが、財政上の問題もありますので、全市的な公園施設整備事業として進め、財源を確保し、早く事業に取り組めるよう努力いたします。